

## 文化力による地域活性化の推進について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

「第26回国民文化祭・京都2011」では、過去最高の434万人の参加を得、文化の次世代継承の大切さとともに、「日本のこころ」と文化の持つ底力を確認できた、エポックとなる大会となりました。

こうした成果をあげた京都の文化力の活性化や、日本文化の素晴らしさをより一層戦略的に発信するため、以下の検討をお願いいたします。

### 提案

#### 1 古典の日の制定

- 古典の日に関する法律の制定に向けて、議員連盟も設立され、推進を図っていただいているところであるが、国において11月1日を「古典の日」と定め、積極的な振興に取り組まれたい。
- 「古典の日」制定を契機に、古典を学校教育や社会教育、さらに文化芸術等の側面において普及・活用し、我が国の教育や文化の振興、次世代の育成、日本人の精神的基盤の再構築につなげる施策を展開していただきたい。

#### 2 関西・京都を起点とした国際的な文化交流発信

- 文化庁関西分室を国際的な文化交流の発信拠点と位置付け、機能・体制を強化するとともに、東アジア諸国の文化人・芸術家等が一堂に会する「東アジア共生会議」を平成25年度に京都で開催していただきたい。
- 京都における国際的な文化芸術祭典事業に対して、「国際芸術交流支援（国際フェスティバル）事業」等の予算を重点的に配分していただきたい。

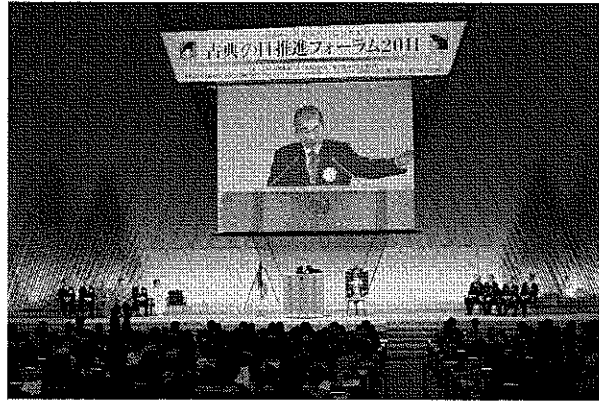
#### 3 次世代の育成と地域文化の振興

- 未来の文化の担い手育成のため、地域住民や芸術団体、NPO、文化施設等と協働で取り組む「文化の甲子園」、「お茶といけばなの祭典」等、京都ならではの文化芸術振興事業について、「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」の対象とする等、地域文化の活性化を図っていただきたい。
- 人形浄瑠璃をテーマにした関西広域連合の取組など、関西・京都からの特色ある提案を「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」に採用する等、積極的な地域振興策を展開されたい。

京都府の現状・課題等

◆古典の日推進の取組

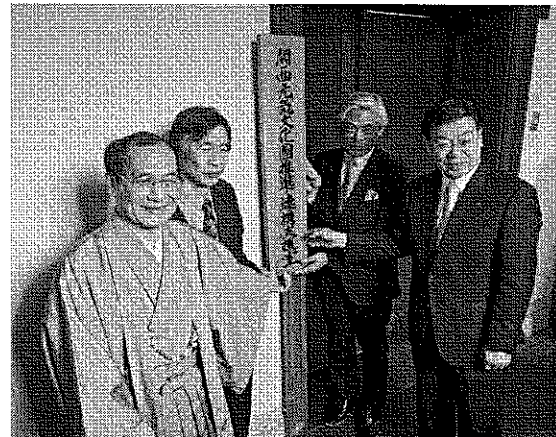
- 「古典の日」推進議員連盟設立  
(平成 24 年 3 月 29 日)  
会長：福田康夫元首相  
顧問：森 喜朗元首相  
鳩山由紀夫元首相  
伊吹文明衆議院議員  
輿石 東参議院議員



- 同議員連盟とともに法制化を求める「古典の日推進全国会議」に、経済、文化・芸術、全国の知事ら著名人約 160 名が「古典の日制定推薦人」として参画
- 古典に親しみみ次の世代につないでいくためのフォーラムを京都と東京で開催
- 「古典の日」制定のための署名活動を展開中  
110,077 件 (平成 24 年 5 月末現在)
- 文部科学省新しい学習指導要領において、伝統的な言語文化について積極的な取組を推進

◆文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室(通称：関西分室)の移転・開所

- 設置時期：平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月
- 設置場所：京都府庁旧本館 2 階  
(当初は平成 19 年 1 月に国立京都博物館内に設置)
- 体制：室長、副室長 (非常勤)
- 業務内容：
  - ・関西元気文化圏への参加登録等に関する相談対応
  - ・関西元気文化圏登録事業への出席
  - ・関係団体・自治体等との連絡調整
  - ・マスコミとの連絡等



◆東アジア文化交流推進プロジェクト事業【文化庁長官官房国際課】

- 趣 旨 今後の世界の成長の源泉であり、多くの課題を抱えた東アジア地域で文化交流を通じた相互理解の増進、異質性の受容、信頼感の深化、共生を目指して、多様な文化を尊重しつつ、東アジアの新たな共存の姿を追求し、世界に発信する。
- 平成 24 年度の事業概要

東アジア共生会議の開催	東アジア共生文化都市開催のための準備事業
東アジア諸国の文化人、芸術家が一堂に会し、世界全体の共生を目指して東アジアからメッセージを発信する「東アジア共生会議」を開催	毎年、日中韓 3ヶ国内で東アジア共生文化都市を定め、各国の文化人・芸術家を集めた文化プロジェクト展開のための調査研究を実施

# 平成24年6月 京都府・京都市 共同提案項目

## ○開催実績・予定

- H23 東アジア共生会議 イイノホール&カンファレンスセンター（東京）  
H24 東アジア共生会議 被災地で開催予定

## ◆地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業（申請中）【文化庁文化部】

### 【日本画こころの京都百選事業】

「こころの原点」である京都の風物、祭礼、人々の暮らしなどをテーマに、京都在住又は京都ゆかりの作家に日本画制作を委嘱し、国内巡回展等を開催

### 【こころの文化次世代事業】

#### <文化の甲子園>

- 趣 旨 京都国文祭で育まれた文化活動を次世代に継承するため、全国のトップレベルの高校生と府内高校生が切磋琢磨する文化フェスティバルを開催（開会式典、優秀校表彰、伝統文化フェスティバル等）  
○日 時 平成24年12月16日（日）  
○会 場 京都コンサートホール

#### <お茶といけばなの祭典>

- 趣 旨 京都国文祭のテーマ「こころの文化」を継承するため、府民誰もが自由に参加でき、様式や作法にとらわれず楽しめるお茶会や高校生などのアマチュアによるいけばなの展示や体験教室などを実施  
○日 時 平成24年11月3日（土）  
○会 場 府立植物園

## ◆文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（採択実績）

【文化庁文化財部】

- <平成23年度> ・京都文化絵巻事業  
・京都文化博物館新規利用者創出事業
- <平成24年度> ・方丈記800年記念「鴨長明と賀茂御祖神社展」  
・無形民俗文化財及び工芸技術映像記録作成等事業  
・京都文化博物館新規利用者創出事業  
・関西広域連合「文化の道」事業（人形浄瑠璃PRパンフ作成）

### 【京都府の担当部局】

- 文化環境部 文化政策課 075-414-4217  
文化芸術振興課 075-414-4219